

大学国際化にブレーキ

新型コロナウイルスで留学や学会中止

学生のケア・代替策を模索

新型コロナウイルスの感染拡大で、日本の大学の国際化にブレーキがかかり始めた。外国人留学生受け入れや、国内の在学生の海外留学・研修の取りやめも続出。日本で開催予定だった国際学会が延期されるなど、研究面への影響も広がる。各大学は留学予定だった学生のケアや交流授業の見直しなど対応を急いでいる。

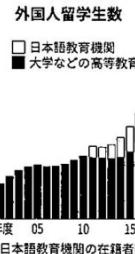
甲南女子大は2020年度前半1年間、中国と韓国を相手に入国と帰国の留学生計5人を受け入れを中止した。感染拡大の防止と学生の安全確保のために決断した。日本全国で感染が拡大し、日本国内で感染が難しい状況にあるのではないかと「自大」を指摘する。

甲南大は2月、中国と韓国、台湾から学生を呼び、日本語教育のプログラムを用意していたが参加者のキャンセルが相次ぎ、見直しを決めた。関西大に1週間滞在し、研究予定だったタンの理工系研究者も来日取りやめた。

新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、留学などへの対応を知らせる甲南女子大学のウェブサイト

先方から授業が再び相次ぎ中止。海外の間に十分な分からず、受け入れられる状態ではないと見せ出された。A.P.U.は学生の到着を中止し、約300人の留学生の派遣を取りやめた。当者は「海外中でもあり、人往来や国際交流事業にはほぼ支障が出ている」と語る。一方、「海外で感染が拡大し、海外で授業が中止された。シンガポールや台湾、タイなどアジア中心の派遣先はキャンセルも相次ぎと中止された。」(留学交流推進課)など、欧州方面のプログラムにも影響が出ている。

「留学生30万人計画」に狂いも
政府は2008年に可能性がある。日本学生支援機構によると、18年5月時点で国内にいる留学生は29万8千人と前年同期比で1.8倍増した。受け入れの計画に狂いが生じるが最も多いのは日本語教育機関(約9万人)、大学(学部)は約8万4千人、大学院は約5万人、出身地は中国が11万4千人、ベトナムが1万2千人を占める。日本から海外に渡った日本人留学生も17年度に約10万5千人となり、5年前から約4万人増えた。政府が奨学金制度を拡充し、カリキュラムに組み込む大学が増えつつある。留学生の獲得はキャンパスの多様性を高め、教育や研究の水準を向上させるのに不可欠とされる。国内の大学は、18歳人口の減少を憂い、学生を世界各地から集める必要も迫られている。



外国人留学生数
日本語教育機関
大学などの高等教育機関
(注)日本語教育機関の在籍者数は2011年度から計上(出所)日本学生支援機構

甲南女子大は2020年度前半1年間、中国と韓国を相手に入国と帰国の留学生計5人を受け入れを中止した。感染拡大の防止と学生の安全確保のために決断した。日本全国で感染が拡大し、日本国内で感染が難しい状況にあるのではないかと「自大」を指摘する。

甲南大は2月、中国と韓国、台湾から学生を呼び、日本語教育のプログラムを用意していたが参加者のキャンセルが相次ぎ、見直しを決めた。関西大に1週間滞在し、研究予定だったタンの理工系研究者も来日取りやめた。

新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、留学などへの対応を知らせる甲南女子大学のウェブサイト

先方から授業が再び相次ぎ中止。海外の間に十分な分からず、受け入れられる状態ではないと見せ出された。A.P.U.は学生の到着を中止し、約300人の留学生の派遣を取りやめた。当者は「海外中でもあり、人往来や国際交流事業にはほぼ支障が出ている」と語る。一方、「海外で感染が拡大し、海外で授業が中止された。シンガポールや台湾、タイなどアジア中心の派遣先はキャンセルも相次ぎと中止された。」(留学交流推進課)など、欧州方面のプログラムにも影響が出ている。

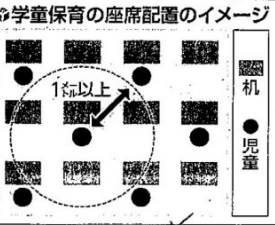
「留学生30万人計画」に狂いも
政府は2008年に可能性がある。日本学生支援機構によると、18年5月時点で国内にいる留学生は29万8千人と前年同期比で1.8倍増した。受け入れの計画に狂いが生じるが最も多いのは日本語教育機関(約9万人)、大学(学部)は約8万4千人、大学院は約5万人、出身地は中国が11万4千人、ベトナムが1万2千人を占める。日本から海外に渡った日本人留学生も17年度に約10万5千人となり、5年前から約4万人増えた。政府が奨学金制度を拡充し、カリキュラムに組み込む大学が増えつつある。留学生の獲得はキャンパスの多様性を高め、教育や研究の水準を向上させるのに不可欠とされる。国内の大学は、18歳人口の減少を憂い、学生を世界各地から集める必要も迫られている。

学童保育の席1メートル離して

厚労省など都道府県に要請

新型コロナウイルスの感染拡大を受けて各地の学校で一斉休校が始まったことから、厚生労働省と文部科学省は、小学生を預かる学童保育(放課後児童クラブ)では子どもの席の間隔を1メートル離すよう、都道府県などに対し要請した。

学童保育は専用の施設のほか、休校中の学校の教室で行うことを想定。通常の授業のように児童が集まっていると感染の危険性があるとして、厚労省などは2日付の通知で、子どもにもマスクの常時着用を求めた上で、子ども同士を1メートル以上離す感染防止策を示した。通知では、子どもたちが隣同士で座ることを避け、少なくとも一つは席を空けて座ることも要請。また、1時間に5〜10分は窓を開けて換気することや、ドアノブなど複数の児童が触る場所は1日1回以上消毒することを求めた。



高校入試直前ピリピリ

面接試験マスク可能 ■ 感染生徒に追試も

新型コロナウイルスの感染拡大で多くの小中学校、高校などが一斉休校となる中、公立高校の入試を控える自治体では、感染予防に神経をとがらせている。



感染予防のため間隔を空けて座る生徒たち(3日午前、大阪市住吉区)

4、5日に公立高校の入試がある静岡県では感染予防のため、県教育委員会がこまめな換気やアルコール消毒液の設置を求めることを各校に文書で通知した。

静岡高(静岡市)は3日、試験会場の全教室や廊下に消毒液を用意した。筆記試験中は教室の窓を少し開け、面接試験ではマスク着用を認める。浜松北高(浜松市)も同日、校内に約20個の消毒液を準備した。筆記試験では科目の間に教室の窓を開けて換気する。

11日に入試が行われる大阪府では、4日に願書の受け付けが始まる。大阪市立墨江丘中学校では3日、生徒約90人が体育館で、進路指導担当の

教諭から入試に関する注意を受けた。窓は全開で、生徒は手をアルコール消毒し、間隔をとって座った。林憲治郎校長は「生徒を集めることに賛否はあるが、1人では不安だと考えた」と話していた。

また、感染が広がる北海道では、コロナウイルスに感染して受験できなかった生徒には、3月下旬に「特別入学者選抜」を行う。このほか滋賀、福井、香川などの県教委でも追試を検討している。

文部科学省は2月28日の通知で、高校入試では会場の消毒やアルコール消毒液の設置といった感染防止策を講じることや、感染で欠席した受験生への追試験の実施などを、全国の教育委員会へ要請している。